

● 最新版！企業が社史や事業・製品を紹介する目的で公開している273館を収録 ●

# 最新 企業博物館事典



古田 ゆかり 監修 A5・610頁 定価15,180円(本体13,800円+税10%)  
ISBN978-4-8169-3084-3 2026年1月刊行

## 企業博物館の情報・魅力を詳しく紹介

- 全国の企業や業界団体が設置し、一般に公開している博物館・資料館など展示施設の総合ガイド。
- 最新版として前版『新訂 企業博物館事典』(2003.1刊)を上回る全国273館を収録。継続収録館の情報更新はもちろん、前版刊行後に新設した館やリニューアルした館も多く紹介。全館にアンケート調査を行い、沿革・概要、収蔵品・展示概要、予約の有無などの最新情報や外観・内観、展示品写真を掲載。
- 本文は都道府県別に掲載。巻頭は「設置企業・団体名一覧」、巻末に各館のジャンルから引ける「種別索引」付き。

### ■ 掲載事項 ■

設置企業・団体名、種別、館名、沿革・概要、展示・収蔵、事業、出版物・グッズ、館のイチオシ

所在地、TEL、FAX、URL、E-mail、交通、開館時間、入館料、予約、休館日、施設(建物・面積等)、バリアフリー対応状況(車椅子、ベビーカーの貸出・スロープやエレベーター・やさしい日本語や音声ガイドの活用・多目的トイレ・授乳室、おむつ替え台等の有無)、ミュージアムショップ等の有無、設立年月(最新リニューアル年)、登録博物館登録年、管理・運営部門名

### ■ 監修者プロフィール ■

古田 ゆかり ふるた・ゆかり

企業博物館研究者 科学技術コミュニケーター サイエンスライター  
1962年神奈川県生まれ。北海道大学大学院博士後期課程修了。北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門特任准教授を経て、科学技術コミュニケーション活動グループ・サイエンスカクテルプロジェクト主宰。執筆、講演、ワークショップ等、企画・実践を行う。  
主要著書：『企業博物館とは何か 歴史・役割・可能性』『おはようからおやすみまでの科学』(共著) など

### ■ 収録館例 ■


- ◇ニッカミュージアム [飲料] (北海道)
- ◇サッポロビール博物館 [飲料] (北海道)
- ◇三居沢電気百年館 [エネルギー] (宮城県)
- ◇TDK歴史みらい館 [科学技術] (秋田県)
- ◇おもちゃのまちバンダイミュージアム [生活・文化] (栃木県)
- ◇製粉ミュージアム [食品] (群馬県)
- ◇鉄道博物館 [交通・運輸] (埼玉県)
- ◇NTT技術史料館 [放送・通信] (東京都)
- ◇オリンパスミュージアム [機械・精密機器] (東京都)
- ◇X TECH MUSEUM [機械・精密機器] (東京都)
- ◇KDDI MUSEUM [放送・通信] (東京都)
- ◇セイコーミュージアム銀座 [機械・精密機器] (東京都)
- ◇NOVARE Archives 清水建設歴史資料館 [建設・土木] (東京都)
- ◇長谷工エマシオンミュージアム [建設・土木] (東京都)
- ◇紅ミュージアム [生活・文化] (東京都)
- ◇郵政博物館 [放送・通信(郵便)] (東京都)
- ◇ミットヨ測定博物館 [機械・精密機器] (神奈川県)
- ◇ロマンスカーミュージアム [交通・運輸] (神奈川県)
- ◇YKK AP技術館 [生活・文化] (富山県)
- ◇こまつの杜 [金属・鉱業/建設・土木] (石川県)
- ◇エプソンミュージアム諏訪 [機械・精密機器] (長野県)
- ◇東洋計量史資料館 [機械・精密機器] (長野県)
- ◇ヤマザキマザック工作機械博物館 [機械・精密機器] (岐阜県)
- ◇カワイピアノ歴史資料室 [その他(楽器製造)] (静岡県)
- ◇三共工作機械資料館 [機械・精密機器] (静岡県)
- ◇トヨタ博物館 [交通・運輸] (愛知県)
- ◇ホーユーヘアカラーミュージアム [生活・文化] (愛知県)
- ◇MIZKAN MUSEUM (ミツカン ミュージアム) [食品] (愛知県)
- ◇ヤンマーミュージアム [機械・精密機器] (滋賀県)
- ◇ニンテンドーミュージアム [生活・文化] (京都府)
- ◇アサヒビールミュージアム [飲料] (大阪府)
- ◇田辺ファーマ史料館 [医薬品] (大阪府)
- ◇まほうびん記念館 [生活・文化] (大阪府)
- ◇竹中大工道具館 [建設・土木] (兵庫県)
- ◇マツダミュージアム [交通・運輸] (広島県)
- ◇別子銅山記念館 [金属・鉱業] (愛媛県)
- ◇TOTOミュージアム [窯業] (福岡県)
- ◇久光製薬ミュージアム [医薬品] (佐賀県)
- ◇沖縄郵政資料センター [放送・通信(郵便)] (沖縄県)

■「内容見本」は裏面をご覧ください■

202512

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

注文書	<b>最新 企業博物館事典</b>  定価15,180円(本体13,800円+税10%) ISBN978-4-8169-3084-3	冊	取扱書店   9784816930843
-----	---	---	--

(株)伊藤園 [食品／飲料]

## お茶の文化創造博物館／ お〜いお茶ミュージアム

伊藤園は、1964(昭和39)年の創業以降、専門店で販売されていた茶をスーパーマーケットや食料品店などで展開できる仕組みづくりを行うとともに、1980(昭和55)年以降には「缶入りウーロン茶」「缶入り煎茶」の開発、その後1989(平成元)年の「お〜いお茶」誕生など、時代やライフスタイルの変化に合わせた「お茶」を提案してきた。

創業60周年、「お〜いお茶」誕生35周年の節目に、今までお茶が果たしてきた役割と展望を伝えていくことを使命として、「お茶」と「喫茶」という習慣の関連性や歴史、これからのお茶について考える複合型博物館を旧新橋停車場内に開設した。

### 【展示・収蔵】

喫茶習慣の変遷をテーマに『お茶の文化創造博物館』と『お〜いお茶ミュージアム』の二つの博物館で構成。

『お茶の文化創造博物館』は、茶の伝播と歴史、製法や飲み方の変化を、シアターによる上映の他、茶道具や喫茶道具、茶弁当や汽水土瓶、蘭字などにて展示。

『お〜いお茶ミュージアム』では、お〜いお茶ができるまでの映像紹介、商品のラインアップを時代と共に紹介したお〜いお茶ストーリーなどを展示。

体験



お茶の文化創造博物館・シアター



お〜いお茶ミュージアム・入口

## 「最新 企業博物館事典」 内容見本

設置企業・団体名[種別]  
館名

### 沿革・概要

### 写真も掲載

展示・収蔵、事業、  
出版物・グッズなど所在地  
交通  
施設情報  
館のイチオシなど

### 【事業】

自分だけの新俳句を作り、「お〜いお茶」に貼ることのできるシールとしてプリントアウトできるコーナーや、急須を使ったお茶いれ体験、PETボトルのラベルをデザインするお〜いお茶創作体験を実施。

見学 イベ

### 【出版物・グッズ】

蘭字デザインクリアファイル／お〜いお茶くんぬいぐるみ

- 関東
- ・所在地 〒105-0021 東京都港区東新橋1-5-3 旧新橋停車場内
  - ・TEL 03-6263-9281
  - ・URL <https://www.ochamuseum.jp>
  - ・E-mail 上記公式サイトフォームより問い合わせ
  - ・交通 JR新橋駅「銀座口」より徒歩5分／都営大江戸線汐留駅「新橋駅方面改札」より徒歩3分／東京メトロ銀座線新橋駅「2番出口」より徒歩3分／都営浅草線新橋駅「JR新橋駅・汐留方面改札」より徒歩3分／新交通ゆりかもめ「新橋駅改札」より徒歩3分
  - ・開館 AM10:00～PM5:00
  - ・入館料 〈お茶の文化創造博物館〉大人500円、学生300円、70歳以上の方・高校生以下・障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名は無料  
〈お〜いお茶ミュージアム〉無料
  - ・予約 不要 ※ガイドツアーを希望する場合は要電話予約
  - ・休館日 毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌火曜)、年末年始
  - ・施設 以下のバリアフリーに対応  
車椅子の貸出／スロープ／やさしい日本語や音声ガイドの活用／多目的トイレ／授乳室、おむつ替え台  
多言語対応(スマートフォン)あり／ミュージアムショップあり／カフェ・レストランあり
  - ・設立 2024年5月
  - ・登録 登録：2025年(お茶の文化創造博物館)
  - ・管理 (株)伊藤園

### ▶ 館のイチオシ

喫茶習慣の変遷や歴史を紐解き、人々を結びつけ、生活に寄り添い続けるお茶の役割について考える博物館